

(16) サワラ資源造成支援事業

予算

運営費交付金、瀬戸内海栽培漁業推進協議会補助金

概要

サワラの種苗放流による「資源造成型」の栽培漁業を展開するため、瀬戸内海区水産研究所屋島庁舎において、瀬戸内海11府県が協力の下で、サワラの共同種苗生産が実施され、全長39.0mmの種苗89,084尾が生産された

この種苗の内、14,259尾を活魚タンクに収容して西鳥取漁協地先海面まで輸送し、6月6日から6月16日まで同海域に設置した小割生け簀で中間育成を行った後、平均全長70.6mmの種苗10,124尾を西鳥取漁協地先に放流した。また、放流効果を把握するため、8月から11月にサワラ流し網による漁獲物やバッチ網混獲物等から228尾のサワラを入手し、耳石ALC標識の有無を蛍光顕微鏡より観察した。

調査方法

1. 調査地点
 - 1) 共同種苗生産：瀬戸内海区水産研究所屋島庁舎
 - 2) 中間育成：西鳥取漁協地先
放流場所：西鳥取漁協地先
 - 3) 標識魚混入率調査：岡田浦漁協、尾崎漁協、西鳥取漁協、下荘漁協
2. 調査期間と実施日
 - 1) 共同種苗生産：2018年5月11日から6月6日
 - 2) 中間育成・放流：2018年6月6日から6月16日
 - 3) 標識魚混入率調査：2018年8月から11月
3. 調査項目
 - 1) 共同種苗生産への参画
 - 2) 中間育成・放流の指導・実施
 - 3) 標識魚混入率調査：耳石ALC染色個体の確認

調査結果

1. 6月1日から6月6日にかけてサワラ種苗の共同生産に研修員として参画し、平均全長39.0mmの種苗89,084尾の生産に貢献した。
2. 6月6日から6月16日にかけて西鳥取漁協地先海面において中間育成を指導・実施し、平均全長70.6mmの種苗10,124尾を西鳥取漁協地先海面に放流した。
3. 本年度の調査では10月24日にさわら流し網により漁獲された尾叉長670mmの1歳魚1個体が放流魚であることが確認された。詳細は表1の通り。

担当者

山中智之

表1 大阪府における放流魚の混入率

年級		2006 H18	2007 H19	2008 H20	2009 H21	2010 H22	2011 H23	2012 H24	2013 H25	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30
0歳	調査尾数	90	78	33	87	33	43	2	12	16	2	79	5	58
	標識尾数※	43・6・0	32・12・0	1・0・0	5・3・0	1・0・0(1)	7・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0
	混入率(%)	54.4	56.4	3.0	9.2	6.1	16.3	0	0	0	0	0	0	0
1歳	調査尾数	0	37	34	67	55	79	166	169	176	118	146	155	
	標識尾数※	0・0・0	15・3・0	2・0・0	2・2・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	1・0・0	
	混入率(%)	0	48.6	5.9	5.9	0	0	0	0	0	0	0	0.6	
2歳	調査尾数	11	11	18	1	4	21	27	10	34	33	15		
	標識尾数※	2・0・0	2・0・0	2・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0		
	混入率(%)	18.2	18.2	11.1	0	0	0	0	0	0	0	0		
3歳	調査尾数	4	2	2	2	5	4	14	5	0	0			
	標識尾数※	1・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0			
	混入率(%)	25.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
4歳	調査尾数	1	0	0	0	4	3	0	0	0				
	標識尾数※	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0				
	混入率(%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0				

※標識の種類別(ポイント・二重・リング)に標記
グレー色が今年度調査分。
()内は屋島事業所試験放流群。